

会報むら竹

特集 第65回 里見祭開催



グリーンフェスティバルで賑わうキャンパス



八十歳を機に

むら竹会 和洋女子大学同窓会 会長
高梨 禮子

はじめに、昨年の能登半島地震そして豪雨災害に遭われた皆様。一日も早く復旧・復興されますよう心よりお祈り申し上げます。

私事ですが、和洋九段の高校に入学以来はや65年が過ぎ、和洋学園の歴史と伝統を肌で感じる日々が強くなりました。同窓会活動に係わって26年、自分の家族といった時間より長く今に至るまで、多くの同窓生がその人の生き方で協力してくれました。これもひとえに和洋という母校の卒業生であるからこそと思います。最初の頃はプレハブの仮事務所で、キャンパス内はいつも工事中で重機の騒音と土埃の舞う中、転々と引っ越しを繰り返し落ち着かない日々を過ごしてきたことが思い出されます。現在は緑の芝生のキャンパスが一望できる、ガラス張りの同窓会室をお預かりしています。

同窓会の年会費についてですが、平成5年度より入学時に、卒業後10年分の年会費を納めていただいています。在学生会は準会員、卒業生は正会員として区別され、大学同窓会名簿に登録されています。卒業11年目より会報送付時の振込用紙を使用して振込をお願いしています。皆様に納めていただいた貴重な会費は、これまで同窓会活動・行事・奨学金・記念事業への寄付・会報制作・会報の発送等にに使わせて頂いています。

前号のご長寿会員の皆様として掲載させて頂いた方々は、100歳近くまで年会費を納めて頂いていたことへの感謝の気持ちをお伝えできればと思い、紙面にコーナーをつくり、ご本人・ご家族の了解を得て掲載させて頂きました。

いろいろな経験を経てこそ気がつく「自分は幸せだ」と思わなければ幸せは手に入らない。多くを望んでも叶えられたとしても、人はみな違う。

「初心忘るべからず」むら竹会での思い出を心のポケットに入れて…むら竹会をよろしく願いいたします。

入学者の減少と定員割れ

和洋学園 理事長 長坂 健二郎



中高等学校を通じて、いよいよ入学人数の減少が表面化し、経営面にも大きな影響が及び始めている。わが和洋学園でも赤字が恒常化しつつあり、回復の見込みが薄い併設校や一部の大学学部・学科について、今後のあり方が検討され始めている。

日本全体を見渡してみると、私立大学の約4割が入学定員未達となっており、身近なところでも高校の募集を停止する動きが表面化しつつある。

こうした情勢に私達はどのように立ち向かえば良いのであろうか。

一言で言えば、他校にない、特色ある教育を打ち出す以外にない。他校と同じ事をしていれば、少子化という、いわばパイの縮小をまともに受け、多かれ少なかれ同じようなテンポでギリ貧に追い込まれるに違いない。教職員一同努力してはいるものの、いまひとつ世間の認知度が高まらないのがもどかしい。そうした中で今後さらに力を入れて行きたいポイントがある。

その一つが高大連続7年制の「和洋コース」である。これは和洋国府台高校（3年間）と和洋女子大学（4年間）をひとつの学校として、大学受験に煩わされる事なく、徹底した人間教育を行おうとしたものである（文科省了解済み）。このコースに入ると、高校2年と3年の時に大学の科目を前倒しでとり始めるので、大学に入ると約半年間、余裕が生まれることになる。これを利用して、海外留学、自由研究（論文発表）、長期インターンシップ等を行うことができる。まだスタートして日が浅く、このコースから社会人が巣立ってはいないが、やがて人間性豊かな人材が輩出するものと期待している。将来が楽しみである。

新春のご挨拶

和洋女子大学 学長 金子 健彦



麗春の候、むら竹会 和洋女子大学同窓会の皆さまにおかれましては益々清栄のこととお喜び申し上げます。昨年4月より和洋女子大学の学長を拝命いたしました金子健彦です。この場をお借りし、むら竹会同窓会の皆さまにご挨拶申し上げますとともに、日頃より本学に対するご支援とご鞭撻に心より感謝申し上げます。

和洋女子大学はその長い歴史と伝統を礎としつつ、時代に即した教育の刷新を常に目指してまいりました。大学を取り巻く環境が急速に変化する中で、女性が社会でさらに活躍し、自らの人生を切り拓いていける力を育むことが求められております。そこで様々な議論を経て、本学では2026年度より、「AIライフデザイン学部」と「生活環境学科」（いずれも仮称）の設置を予定しております。「AIライフデザイン学部」では、AIを駆使しながら自己実現を目指す力を育成し、新たな価値を創出できる人材の育成を目標としております。一方、「生活環境学科」では、私たちが日常生活の中で直面する課題に対し、家政学で広く求められる力を学んだ上で、服飾造形や家政福祉といったさらなる学びを深めることができるよう計画しております。これらの学びを通じて、学生一人ひとりが社会で輝ける人材となるよう尽力してまいります。

本学が目指すのは、学生がわくわくしながら学びに取り組める大学、そしてご家族の皆さまが安心してお嬢様を託せる大学です。学生たちがオンラインワンの価値を自らに見出し、自分らしい夢や目標に向かい前向きに歩む姿を支えるため、教育環境の整備や支援体制の強化に力を注いでまいります。

むら竹会の皆さまにおかれましては、これまで本学の発展に多大なるご貢献をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。皆さまが築き上げてこられた伝統を引き継ぎ、さらなる発展を遂げるべく教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも、本学の教育活動へのご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆となりますが、むら竹会の皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

2024年度 稗方・むら竹会奨学金「採用決定者の集いの会」開催 2024.8.16



奨学金採用決定者の一人になったの感想や今後の抱負

健康栄養学科 1年 2422072 染谷 里沙

今回むら竹会奨学金の奨学生に採用して頂きました、健康栄養学科 1年の染谷 里沙です。

むら竹会の方々については和洋中学の頃から存じ上げておりました。部活動の休憩中にお会いした時には笑顔で挨拶やお話などをしてくださいました。そんな方々に大学生になった今、奨学金採用決定者に推薦していただきました。採用決定者の集いの会ではむら竹会の歴史や現在取り組んでいることなどを知る良い機会になりました。学生のことを1番に考えて学園をよ

り良くしようと努めているということを知り感銘を受けました。

いただいた奨学金はニュージーランドへの留学への費用に使わせていただきます。私は英語が好きで勉学に励んでおりましたが、実際に海外の英語に触れることでさらに英語の能力が向上するのではないかと考え、留学することを決意いたしました。大きなお金をいただいたので、奨学生に推薦していただいたことに後悔がないよう精一杯努めてまいります。

和洋学園 「硯友社文庫」開館一周年

創立125周年を記念して開設された「硯友社文庫」は地縁のある和洋九段の校舎の一室にあります。

尾崎紅葉をはじめとする近代文学初期の資料を展示しています。

開館一周年を記念して、記念講演会・文学散歩を開催しました。

《開館日》 土曜日
《入館料》 無 料

※不定休のため、詳細は和洋女子大学HPをご参照ください。

「郷土の誇る日本女子教育の先駆者 堀越千代」

令和6年9月27日「えふえむ花巻」で岩手県支部50周年記念特番として、放送されました。

出演は長坂健二朗理事長・高梨禮子会長・岩手県 菊池房江支部長・元原敬記念館館長 木村幸治様と司会者が対談の形で千代先生の生い立ちから、これからの女子教育までの4部構成の内容でした。（放送内容はCDにて聴くことができます）

ご退職の先生方

登坂三紀夫 先生（健康栄養学科）
中島 肇 先生（健康栄養学科）
湯澤 聡 先生（日本文学文化学科）

同窓会活動へのご協力ありがとうございました。

令和6(2024)年度 卒業年度同期会幹事の皆さん

計37名



■人文学部	
日本文学文化学科	
小 野 碧	
兼 城 沙 弥	
齋 藤 晃 子	
多 田 萌 香	
関 間 涼 葉	
心理学科	
笹 島 美 咲	
こども発達学科	
安 田 実佳子	
佐々木 利 華	
北 川 杏 華	

■国際学部	
英語コミュニケーション学科	
阿 部 那 月	
梶 原 結 彩	
櫻 井 友 芽	
北 川 日 葵	
国際学科	
小 川 沙由美	
成 松 あゆみ	
水 石 友 理	
湯 澤 奈 千	

■家政学部	
服飾造形学科	
小 島 咲 輝	
山 口 桃 奈	
健康栄養学科	
鶴 飼 志 苑	
鈴 木 結 衣	
高 久 幸 恵	
松 岡 杏 奈	

■家政福祉学科	
伊 藤 月 菜	
角 谷 杏	
■看護学部	
看護学科	
鈴 木 琴 葉	
他	

※同期会幹事の皆様は、学科同期生の要となり大学とのパイプ役となる方々です。
むら竹会の卒業生交流行事など積極的なご協力をお願いいたします。

第65回

里見祭

里見祭実行委員長 日本文学文化学科 書道専攻3年 南波 結乃



一年生の時から続けてきた実行委員会、今年度は委員長となり3年間の集大成のつもりで里見祭準備に力を注いできました。ご来場くださった皆様、お楽しみいただけたでしょうか。

今年度は本部メンバー6名のうち本部経験者が私一人しかおらず、周りを引っ張っていきながらの準備は大変なことも多くありました。しかし実行委員はもちろん、参加団体の学生、教職員の皆さんなど多くの方の支えがあり、無事に里見祭を上げることができました。個人的には、千葉商科大学とのコラボを発案し実現させるなど、過去二年間の経験を元に自分がやりたいと思っていたことを形にできたと感じています。

一年間、実行委員長として活動した中で沢山の学びを得ることができました。残りの大学生活、そして社会に出てからもこの経験を糧に頑張っていきます。



令和6年度 和洋女子大学大学院 修士論文発表会・博士論文公聴会

■人文科学研究科

英語文学専攻 修士課程 令和7年2月14日(金)
日本文学専攻

■総合生活研究科

博士後期課程 令和7年1月30日(木)
博士前期課程 令和7年2月25日(火)

卒 業 制 作 展



日本文学文化学科

◎文化芸術専攻第14期生
芳澤ガーデンギャラリー
での展示
(R7.1月31日～2月5日)
「Web展覧会」を開催



博物館学芸員課程

◎2024年度 博物館学芸員課程 学生展開催
Aグループ「かわいい! 故郷おもちゃ」
Bグループ「紡がれ、編まれたものたち
—和洋教育の証—」
Cグループ「土鈴生き物コレクション
～生き物に込められた思い～」
(R6.12月7日～R7.1月23日) 文化資料館にて



◎書道専攻

第50回「雁鴻会書展」
R7年1月下旬～3月上旬
在住または出身市町村に
おいて個展形式で開催



服飾造形学科

・卒業制作ショー (R7.2月9日)
西館1階1～4教室にて開催
(動画は3月上旬和洋女子大学HPに
公開予定)

令和6年11月2～3日

第65回 里見祭開催

里見祭がコロナ禍以降、入場制限なしで開催されました。

同窓会も以前のように、東館 9 階で地域連携セ



金子学長 講演



記念品



受付の2人



バザー



物産展



モロさん



心理学科

関東近都県の物産展

東京都	金太郎飴・煎餅
茨城県	コーヒー
群馬県	漬物・パスタスナック
埼玉県	芋けんぴ・グミ
千葉県	椎茸・ひじきご飯 ・ピーナツサブレ



スタンプラリー



☆第66回里見祭は

令和7年11月1～2日開催予定です

皆様のご参加をお待ちしています



書作展

卒業生だより



「多趣味のススム」



わよ♡ボラ



イラストマーケット

H2短大生活 成田 友美

戦争や山火事、温暖化など、世界には心配事が尽きません。未来を思うと不安になることも多いですが、そんな時だからこそ、自分の好きなことを大切にしながら生きられることの幸せを感じます。

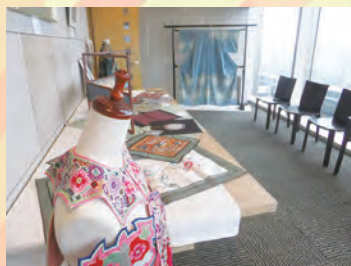
私は今、殺陣に日舞、講談、紙芝居、チンドン屋、篠笛、尺八、そして、栄養士、保育士の仕事と、やりたいこと、好きなことに全力投球、毎日楽しく忙しく過ごさせて頂いております。そして、ひとつの趣味だけでなく、いくつかの楽しみを持つことが、人生により豊かな彩りを加えてくれることを実感しています。ひとつが生き詰まっても、別の

ことで気分転換ができる。そんな柔軟さが、自分らしい楽しみ方だと思っています。

同窓会の皆様も、それぞれの人生を歩みながら、御自身なりの楽しみや喜びを見つけていることなのでしょう。同窓会の会報を通じて、懐かしい顔ぶれを思い出し、互いの近況を知ることができるのは、とてもありがたいことです。どんな時代でも、こうしてつながりを持続けられることに感謝しております。これからも好きなことを楽しみ、呆れながらも応援してくれる家族や仲間への感謝も忘れることなく、家庭・仕事・趣味のバランスを取りながら健康に気を付けて頑張りたいと思います。

東館18F「ノヴァ」－作品展－

名誉教授 櫻井映乙子先生のコレクションを中心とした刺繍作品と、むら竹会に寄贈された絵画作品を展示しました。
筑波山を望む景色に癒される談話室にもなりました。



健康栄養学科 鈴木ゼミ



華道発表会



服飾造形学科



アーススペース



健康栄養学科



お守りガチャ



南館



東館



パーラーK×K



東館～西館へ



文化資料館



10月桜

■ 第11回日展5科（書）部門に卒業生8名が入選

初入選は2名

伊藤 妃美香さん

（令和元年度日本文学文化学類書道専修卒業）

吉田 真緒さん

（令和3年度日本文学文化学類書道専攻卒業）



■ 令和6年度企画展「シゴトギの美」

10月15日～11月14日にて開催されました。

本展示では、旧服装文化史研究室（和洋女子大学名誉教授 大塚倫子研究室）が、研究のために収集した「シゴトギ」の一部を展示しました。

初めて展示した資料も多く、多くのお客様に訪れていただくことができました。

むら竹会 本部総会報告



2024年5月26日(日) 和洋女子大学 東館18階ラウンジむら竹にて開催しました。出席者60名。総会の議事は全て承認され、懇親会では和やかな会話の後、健康朗読普及啓発プランナーの平尾麻衣子様による講演がありました。「声を出すってこんなにも大切」という内容ですが実際に声を出し、講演後は皆さん元気な表情になっていました。

第4回グリーンフェスティバル開催



2024年6月8日(土) 午後1時30分より、国府台キャンパス屋外入り陽の丘ステージにて開催されました。天候にも恵まれ、学生・生徒・教職員・同窓会・保護者の方々が、ステージでの演奏やパフォーマンスを楽しみました。

《第5回グリーンフェスティバル 2025年6月14日(土) 開催予定》



2025年 むら竹会 和洋女子大学同窓会 総会・懇親会ご案内

日時：令和7年5月24日(土)
11時30分～15時
(受付開始11時)

会場：和洋女子大学 東館18階
ラウンジむら竹

会費：¥2,000 (振込用紙で入金願います)

※昼食の用意があります

ご長寿会員の皆様

- S19大和会
三 枝 千代子 様(99歳)
徳島県阿南市
- S23保健
原 静 子 様(96歳)
東京都豊島区
- S23芙蓉会
荒 木 喜代子 様(96歳)
東京都世田谷区
- S23芙蓉会
箕 浦 和 子 様(96歳)
神奈川県厚木市
- S23被服師範
人 見 美津子 様(95歳)
神奈川県横浜市
- S26白梅会
種 村 さ つ 様(95歳)
東京都杉並区
- S26生活
石 田 三代子 様(94歳)
秋田県横手市
- S26白梅会
進 藤 弘 子 様(93歳)
東京都葛飾区
- (R7.2.10 現在)

■ 岩手県支部

支部長 菊池 房江

令和6年6月22・23日に花巻温泉紅葉館において、岩手県支部創立50周年記念総会を開催いたしました。

御来賓に学校法人和洋学園 長坂健二郎理事長、和洋女子大学 金子健彦学長先生、拝田清副学長先生、広報センター長 村杉若穂先生、むら竹会会長 高梨禮子先生をお迎えして半世紀の歴史をひもとく、和やかな創立50周年記念総会になりました。翌日23日は、宮沢賢治記念館を見学し、その後正覚寺様に建立された堀越千代先生の顕彰碑を御参拝いたしました。



■ 埼玉県支部

支部長 小林 幸子



■ 秋田県支部

支部長 豊田 茅保子



■ 長野県支部

支部長 太田 恵子



第51回パレット展開催

(令和6年10月7日～13日)

大学卒業生のグループ展で、ここまで長く続いている会は日本中を探しても他にないかもしれません。半世紀でいったんは区切りという話が出たパレット展ですが、有志にて継続したいという声も多く聞かれこの度第51回展を開催させて頂きました。中村威久水先生、会員の皆様、賛助出品くださった方々の作品を多数展示することが出来、来場者も200名を超え大変盛況でした。絵画の他、手工芸品も数多くご出品頂き和洋らしさのある作品展になったと思っています。

(パレット展代表幹事 長山浩子)



クラス会だより

大小クラス会の情報をお知らせください。
(卒年・開催日・会場等)

■ 学部被服 S45



令和6年11月6日
於 上野 韻松亭
クラス会を開催し旧交をあたためました。翌日は有志による母校の学び舎を見学、展望ラウンジで昼ご飯を頂き次回の再会を願いそれぞれの家路につきました。

■ 学部生活 S56



令和6年6月9日
於 東天紅東京国際フォーラム店
クロード会是在学4年間クラス担任をして頂いた務台蔵人先生のお名前から命名しました。参加者14名で大変楽しいひとときを過ごすことができました。

■ 短大生活 S47



令和6年11月15日
母校を懐かしく想い、地方在住の友人と3名で大学を訪問、むら竹会での記念写真。

和洋女子大学 公開講座2025

■専任教員が講師をつとめます

■詳細・お申込みは、「和洋女子大学 公開講座」で検索のうえ、
参加申込欄に記載のURLからお申込みください

■お問合せ、資料請求は地域連携センター renkel@wayo.ac.jp までご連絡ください

会 場	学 科	担当教員
国府台キャンパス (来場形式)	心理学科	酒 井 久実代
	こども発達学科	田 島 大 輔
	英語コミュニケーション学科	拝 田 清
	国際学科	金 範 洙
	服飾造形学科	海老名 理紗子
	健康栄養学科	柳 澤 幸 江
	家政福祉学科	星 野 美穂子

令和7年度 市川市主催講座(いちかわ市民アカデミー講座)

■詳細は市川市のホームページをご確認ください

会 場	学 科	担当教員
国府台キャンパス (来場形式)	日本文学文化学科	梅 山 聡
	看護学科	河 村 秋
	全学教育センター	加 藤 紫 識

社会人学び直しプログラム
(履修証明プログラム)のご案内

和洋女子大学では、学習ニーズの高い社会人を対象に、学び直しの教育プログラムを2010年4月よりスタートしました。急速に変化し、多様化していく社会に対応して、常に前向きに社会や地域で活躍しようとする心をもち、キャリアアップを目指していく女性に向けて学びの場を提供します。

詳細は、下記URLまたはQRコードよりご覧ください。

《大学ホームページ》

「社会人学び直しプログラム

(履修証明プログラム)」

URL <https://www.wayo.ac.jp/>和洋女子大学
文化資料館

東館17階から関東平野を一望できる眺めの良い資料館です。年2回、春と秋に企画展示を行うほか、和洋で学ぶ学生たちの作品も随時展示します。

●開館時間：月～金 10:00～16:30

●休 館 日：日曜・祝日 / 大学の休暇中 / 展示替の期間

●入 館：無料

※開館日や入館時間を変更する場合があります。詳細は文化資料館HPをご覧ください。

■お問合せ：

文化資料館オフィス (047-371-2494)

むら竹会 和洋女子大学同窓会 令和5年度 決算書

款項目/科目	予算	決算	差異
会 費 収 入	16,050,000	13,641,258	△2,408,742
寄 付 金 収 入	50,000	122,000	72,000
記念事業積立金取崩額	0	10,000,000	10,000,000
雑 収 入	8,500	44,184	35,684
当期収 入 合 計	16,108,500	23,807,442	7,698,942
前期繰越収 支 差 額	64,771,516	64,771,516	0
収 入 合 計	80,880,016	88,578,958	7,698,942

支出の部

款項目/科目	予算	決算	差異
本 部 費	1,450,000	1,285,360	△164,640
管 理 費	2,930,000	1,272,259	△1,657,741
会 員 援 助 費	650,000	302,400	△347,600
文化福祉活動費	300,000	108,714	△191,286
編集 部 費	4,770,000	4,750,802	△19,198
商 品 代 金	100,000	0	△100,000
記念事業積立金	5,000,000	5,000,000	0
寄 付 金	500,000	10,954,413	10,454,413
同窓会移転費	300,000	87,422	△212,578
予 備 費	100,000	0	△100,000
当期支 出 合 計	16,100,000	23,761,370	7,661,370
次 期 繰 越 金	64,780,016	64,817,588	37,572
支 出 合 計	80,880,016	88,578,958	7,698,942

令和5年度 別途積立金

	預入先	前年度末残高	本年度払出	本年度積立	本年度末残高
記念事業積立金	三菱UFJ銀行	15,000,000	10,000,000	5,000,000	10,000,000

今年度 令和5年9月27日 和洋学園125周年式典 10,000,000円 寄付

和洋学園の今を伝える

公式 LINE 開設！

QRコードから登録できます

<https://lin.ee/L5is4jy>

2025年度 むら竹会本部・支部総会・懇親会開催予定

開催日	都道府県	会長・支部長
5月24日(土)	本 部	高 梨 禮 子
6月8日(日)	長 野 県	太 田 恵 子
6月28日(土)	岩 手 県	菊 池 房 江
10月19日(日)	東 京 都	永 瀬 富士子
11月15日(土)	千 葉 県	吉 井 紀 子

※次回開催日をその年の1月末日までに事務局にお知らせください。

監査報告

むら竹会 和洋女子大学同窓会の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの会計書類を監査いたしました。その結果、全て適正であることを確認しました。

令和6年5月7日

監事 高野 俊
監事 榎本 春榮

あ と が き

毎年のように発生する自然災害、詐欺や強盗事件、自分では防ぎようの無い事態が身に迫ったら…。他人事と思わず、各自が常に情報や知識を取り入れ、被害を少しでも防ぐ工夫をして過ごしていかなければと思う日々です。

今現在大変便利な生活が日常のように思われますが、いざという時のため備えを充実していきましょう。

ご多忙の中、会報へのご協力を頂きました同窓会、教職員ならびに学生の皆様に厚く御礼申し上げます。

次号に向けて、身近な情報やご意見をお寄せいただければ幸いです。

広報委員長 佐久間敏子
委 員 中村かおる
宮島 実子
山本 高美
潤間美智江



★卒業後の住所変更のお願い

卒業後、住所変更をされた方はむら竹会和洋女子大学同窓会事務室まで新住所をお知らせください。

ハガキ・FAX等で旧姓・旧住所・新住所記入でお知らせ下さい。

★同窓会会費納入のお願い

同窓会の年会費は1,500円です。同窓会は会員の皆様から頂く会費により運営されております。平成27年3月以前に卒業の方は納入をお願いいたします。

★むら竹会事務室

月曜日から金曜日(対応可) 10時～16時

ただし、大学が休業の場合はお休みとなります。不在時はFAXの対応になります。

(TEL・FAX 047-373-4793)

むら竹会 和洋女子大学同窓会 〒272-8533 市川市国府台 2-3-1